

「学校・家庭・地域の連携・協働研修会」事業報告

1 事業名 令和2年度「学校・家庭・地域の連携・協働研修会」

2 期 日 令和2年10月7日（水）

3 参加者 39名

4 日 程

時 程	内 容
12:40	受 付
12:50	開 会 行 事
13:00	ガ イ ダ ン ス
13:10	研修1〈説明〉 「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールについて」 筑豊教育事務所 社会教育室 主任社会教育主事 坂本 真一 教育指導室 指 導 主 事 永水 徳之
13:30	研修2〈講話〉 「今、なぜ地域と学校の連携・協働が必要なのか？」 福岡教育大学 教育学部 教 授 伊藤 克治 氏
15:20	閉 会 行 事
15:30	

5 活動の実際

研修1

(1) 内容

研修1では、「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールについて」と題して、筑豊教育事務所の社会教育主事と指導主事が、「地域と学校の協働体制」「地域学校協働活動の効果」「コミュニティ・スクールの概要」「学校運営協議会の主な役割と運営」等の説明を行いました。参加者からは、「改めて、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの内容を整理することができました。」という声がきかれ、それぞれの立場における役割について学ぶことができました。

(2) 活動写真



地域学校協働活動の説明を聞く参加者



コミュニティ・スクールの説明を行う指導主事

(3) 参加者の声

- 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを、どう結び付けていくかについて考えさせられました。
- 「地域とともにある学校づくり」をすることは、子ども、教員、保護者、地域の人々にとってプラスになることだと感じました。

研修2

(1) 内容

研修2では、「今、なぜ地域と学校の連携・協働が必要なのか?」という演題で、福岡教育大学伊藤克治教授による講話を実施しました。

講話では、伊藤教授から、実践事例をもとにしたコミュニティ・スクールの導入や地域学校協働活動との一体的推進による効果等の説明がありました。参加者からは、「目指すビジョンや意義が分かりました。」等という声がきかれ、講話をとおして、「地域と学校の連携・協働」の必要性について学ぶことができました。

(2) 活動写真



講話を行う伊藤教授



交流を行う参加者

(3) 参加者の声

- コミュニティ・スクールを実感・充実させていくことでの価値やよさについて理解することができました。目的を明確にして、コミュニティ・スクールの設置を推進したいと思います。
- コミュニティ・スクールは目的ではなく、手段だと学びました。コミュニティ・スクールを進めていくうえで、作戦からではなくて、戦略から入るのが大切だと学びました。
- 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを一体的に推進することで、子どもたちの自尊感情や自己有用感が高まることが分かりました。

6 全体をとおして

本研修会では、教育委員、社会教育委員、学校教職員、教育行政職員、地域学校協働活動推進員を対象に、地域学校協働活動の意義やコミュニティ・スクールのしくみ、地域と学校の連携・協働の必要性について学んでいただくために、社会教育室と教育指導室が連携して研修内容を企画しました。

研修後、参加者からは、「具体的な実践事例を聞くことができたので、参考になりました。」「昨年度よりコミュニティ・スクールを立ち上げ、学校・家庭・地域のつながりを大事にして、日々取り組んでいるところなので、具体的な取組を聞くことができ、大変参考になりました。」等の声が多くきかれました。

このような参加者の声から、本研修会は、コミュニティ・スクールを設置することのメリット、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいる事例を聞くことによって、それぞれの立場の方々が、「学校・家庭・地域の連携・協働」のために果たす役割について考える機会となりました。